

則竹遥さん

(20)

◆ 大学生 ◆

○：「剣道をやめようと思ったことはありません。もっと頑張るところから剣道を教えてくれた教士8段の東日出男さんが監督を務るし、勝った時の喜び

める名古屋経済大学へ進学を希望し、見事合格。再び、東先生の指導を受けられることに。

○：母と4歳年上の兄の影響で5歳のころ

から始めた剣道。高校時代には、愛知県新人戦団体で優勝。全国大会への出場切符を手に入れていたのですが、東日本大震災の影響で

トや小物がいっぱい。

○：両親、兄、祖母の

剣道は私の一部です



5人暮らし。仕事をしながら家事、育児をこなし、練習を重ね、現在6段の腕前を持つ母を尊敬している、きつぱり。

大会が中止。幻の出場

○：将来は「実業団で

となりました。しかし、大学に入り、この秋、東海女子学生剣道優勝大会で入賞。11月には全国大会への出場を果たしました。

○：「緑色」と「カます。川久保一色南在佳」

